

第6回島田市都市計画マスタープラン等 まちづくり市民会議 議事要旨

◆日時：平成30年12月20日（木）18：45～21：00

◆場所：島田市役所会議棟大会議室

◆出席者：

○まちづくり市民会議委員（15人）

区分	氏名	職業等（所属）	備考
公募	権田 真知子	自営業（ヨガインストラクター）	欠席
	荒井 浩介	会社代表（(株)荒井建築計画事務所）	
	戸塚 康之	会社役員（(有)アスカエンジニアリング）	
団体推薦	佐久間 章次	島田商工会議所	会長
	木村 恭輔	島田青年会議所	
	鶴川 忠章	島田市社会福祉協議会	
	新聞 康博	島田市自治会連合会	
	太田 拓男	島田市自治会連合会	
その他	北川 有香	男女協働参画啓発推進委員	
	田代 紗莉依	静岡県立大学 薬学部	
	鈴木 悠	静岡福祉大学 社会福祉学部	
市職員	堀崎 大二郎	地域生活部 協働推進課	欠席
	北川 未奈子	行政経営部 人事課	
	安達 佑美	教育部 社会教育課	欠席
	杉浦 元紀	支所 川根地域総合課	

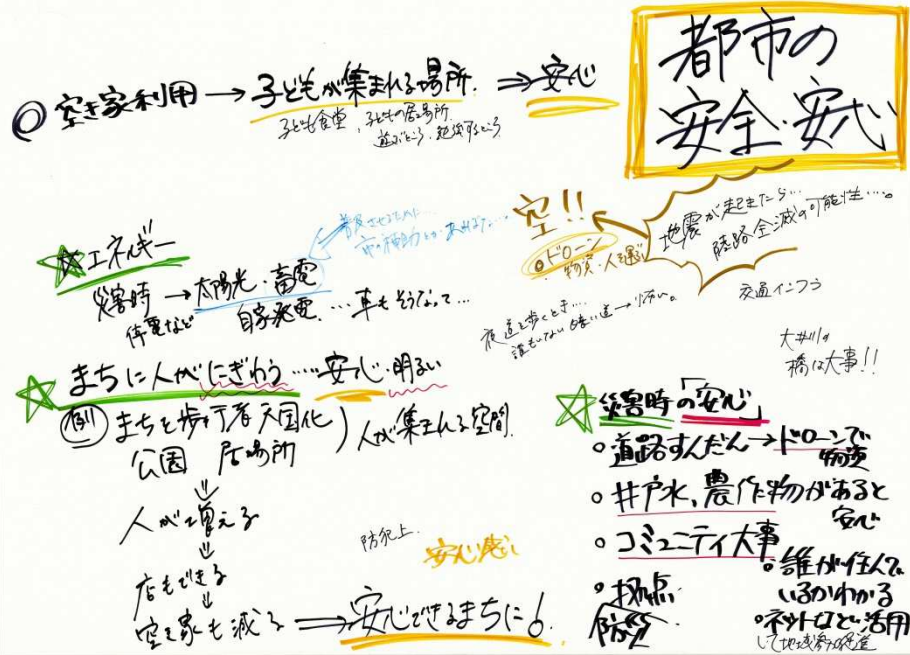
■第6回まちづくり市民会議 議事要旨

< 5つの「テーマ別方針」について >

都市の暮らしやすさ	
グループ意見のまとめ	
グループ発表	<p>< 発表概要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 都市の暮らしやすさとして、子育てしやすい環境づくりをテーマに中心市街地と中山間地の2つの場合で意見交換を行った。まず、中心市街地では、駅に近接した場所にマンションを整備し、そのマンションと併設する形でスーパーや病院、保育所などを集積させれば、子育てしやすい環境になるのではないかという意見が出た。また、既存の施設の有効活用として、おびりあの3階スペースを子育て世代や高齢者の集いの場とすることで、子育てに関する知識と経験を共有する場としてはどうかという意見も出ている。 中山間地においては、子ども達が遊べる広場に、子育て世代が働ける場所や保育所、保健所などの機能が入った地域のコミュニティセンターの様な場所があれば、暮らしやすさに繋がるのではないかという意見が出た。このコミュニティセンターでは、最先端の技術(AIやICTなど)を活用した医療や働き方ができるとなると良いと思う。 これまでのアンケート結果では、島田市を含め周辺都市では、車がないと生活が不便という意見が出ていた。公共交通といっても実際にはバスを利用する人が少ないのではないかと考えたとき、中心市街地を対象にレンタサイクルやシェアサイクルを社会実験的に実装してみたらどうかという意見が出た。他都市では観光客を対象にしたレンタサイクルなどが既にあるかと思うが、このまちに暮らす人たちのための、地域の生活に根付いたレンタサイクルは、まだ事例が少ないのではないかと思う。レンタサイクルなどは、建物を整備するよりもコスト面でも実現性があり、他のまちにない島田の特色としてPRできるのではないかと考えた。 一方で、まずは建物をつくるよりも、人が集まる居場所づくりが大切ではないかという意見が出ており、駅前を公園のように整備すれば、子育て世代や高齢者世代の居場所にもなるのではないか。そのため、まずは、子育て世代をはじめとした人が集まる仕組みづくりを行い、その上で集まった人たちが暮らしやすい仕組みづくりがあれば良いという結論になった。

都市の安全安心

イラストマップ



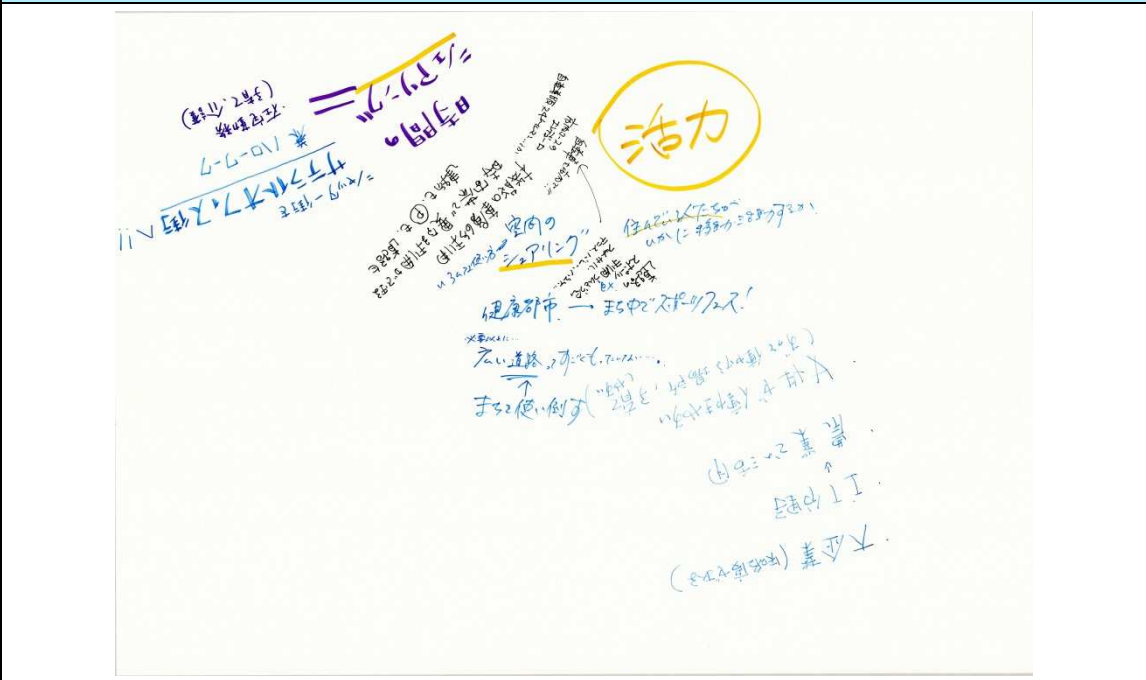
グループ発表

<発表概要>

- 都市の安全というテーマで、「災害時の問題」、「災害時のコミュニティ」、「エネルギー」をポイントに意見交換を行った。
- 災害時において、一番問題となるのはやはり陸路ではないかという意見が出た。道路や橋が全て使えなくなった場合、島田市が陸の孤島になってしまうのではないかと考えた特、ドローンを活用し物資を運んだりする技術があれば安全安心につながるのではないかと考えた。また、橋が崩壊することを防ぐために、新しい橋を架けるよりも、今ある橋を災害時でも使えるように強化していくことが大切だと考えた。
- コミュニティに関しては、周りに誰が住んでいるかということが大切であり、災害時に閉じ込められてしまった時、まずは自力で脱出しようと試みると思うが、周りに住んでいる人たちとの共助が大切になってくると思う。市役所や自衛隊が出来ることには限界があると思うため、周りに誰が住んでいるか把握することや声掛け見回りなどが災害時の安心という点で大切になってくると思った。
- エネルギーに関しては、停電等したときに、太陽光発電などは自宅で出来る発電として考えられるが、コスト面などを考えていくと補助金を受けるのが難しい部分もあり、最近では売電価格も下がっている傾向にある。そのため、太陽光で発電してそれを売るというよりも、蓄電を普及させるための補助金を導入するなど、自家発電を促すことが大切だと思う。
- 最後にまちに人がにぎわうことで安心や明るい印象に繋がると思う。具体例として、まちなかを歩行者天国するなどの案が出た。また、公園や居場所づくりが直接的に安全安心につながるかはわからないが、まち中に居場所づくり、活力づくりを行うことや空き家を利用して店舗を誘致したりすれば、まちが明るくなり、まちの安心につながると思う。空き家を利用する方法としては、子ども食堂や学童保育などの子どもが集まる場所としてはどうかという案が出た。ボランティアやバイトを雇って勉強を教えたり、親が迎えに来るまでの時間を面倒見てもらえる場所を、空き家を活用して作れば、安心につながるのではないかとと思う。

都市の活力

イラストマップ

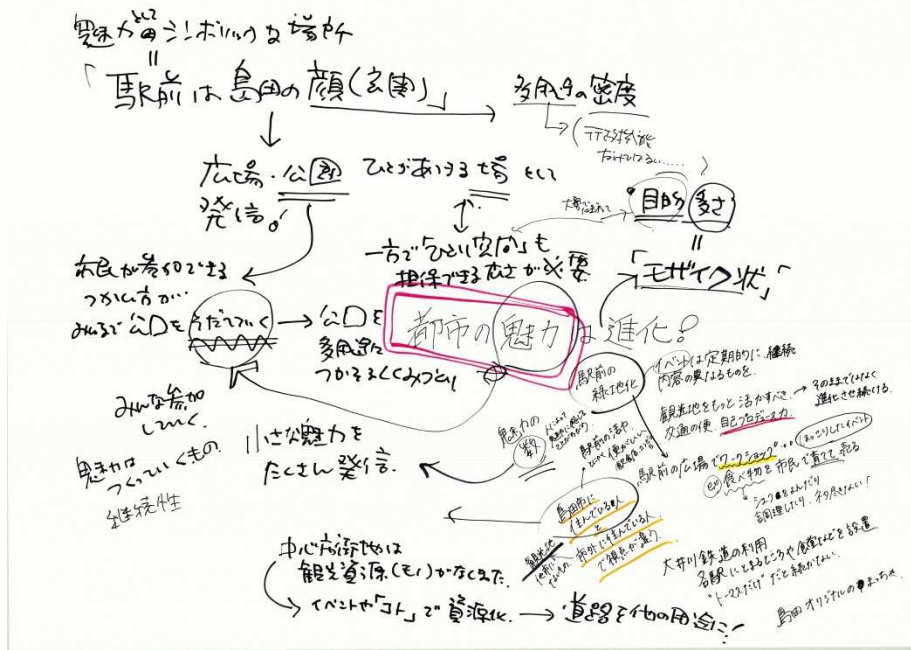


グループ発表

- <発表概要>
- ・島田市に今あるものを活用していくという視点で言えば、本通りなどの大きな道路を活用し、健康に過ごすということも含め、まち中で何か仕掛けられたらという意見が出た。このテーマで話を進めていく中で、空間のシェアや時間のシェアなど、昼間活用されていても夜は活用されていない、その逆の夜は活用されているけれど、昼は活用されていないというような、空いている時間を上手く活用すれば、今あるもので活力を創出することができるのではないかという意見が出た。
 - ・シャッター街をサテライトオフィス街にするという意見も出た。色々な企業が集まることでハローワーク的な機能も盛り込めれば良いし、在宅勤務も可能になるのではないかと思う。
 - ・前回の市民会議で、誘致するならば中小企業が良いという意見も出ていたが、中小企業を誘致することでメリットも当然あるが、大企業でも良いのではないかと思う。大企業が来てくれれば、それに伴って関連会社も付いてくる。分野としてはどこでも働ける IT 分野が良いのではという意見も出ており、その他には女性が継続して働きやすい企業が来てくれればよいと思う。

都市の魅力

意見交換の結果



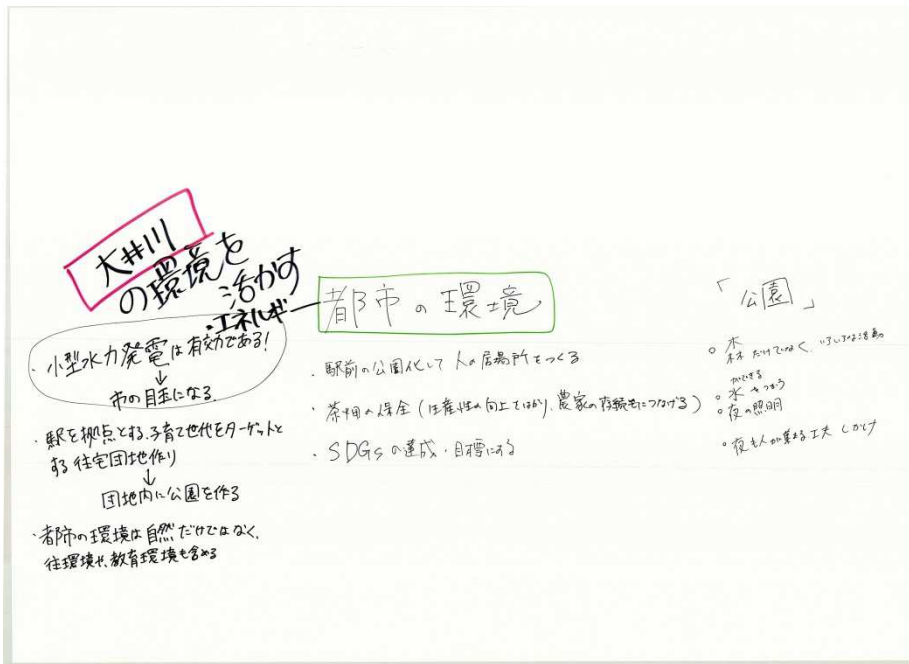
<発表概要>

グループ発表

- 都市の魅力と言っても、島田に住んでいる人にとっての魅力と、島田を訪れる人の魅力の2種類あるのではないかと整理した。大きく分けて、住んでいる人にとっての魅力というのは、どちらかというとも住みやすさや、生活しやすさとかなど、安全や安心が魅力になってくるのではないかと思います。外から訪れる人にとってみたら、自分の住んでいるまちにはないものが、島田にあるということが魅力として認識されるのではないかと思います。
- 例えば、蓬萊橋や川越遺跡などの観光資源や川根の風景や茶畑などのランドスケープが他のまちにはない島田の魅力として認識されると思う。
- 一方、島田の住民にとってみると、生活しやすさという視点の他に、魅力としてシンボリックな場所があって欲しい。それは一番分かりやすく言えば、以前からある駅前が島田の顔で玄関となっているが、その玄関が何もない状況なので、そこに目的の受け皿を用意できるような場所が欲しいという意見が出た。建物を建てたりするよりも、駅前の広場や公園などの、人が集まることができる場所づくりというのが駅前には相応しいのではないかと思います。
- 人が集まる場というのは賑やかなイメージがあるが、住民にとってみると、一人の時間を担保できるようなスペースが欲しいという意見が出た。
- 公園を例に挙げると、市民が参加できる使い方ができると、単発的な魅力ではなく、みんなで公園を育てていくみたいな、公園を多用途に使える仕組みづくりがここでは必要ではないかということ、島田の駅前ですぐにできればよいと思う。
- 都市の魅力はモザイク状というように描かれているが、中心市街地の状況を見ると、各店舗はすごく頑張っているし、とてもきらきら光る魅力だと思う。それらをまとめて、こんなに素敵な魅力があるということをプロモーションしていくような、魅力の発信の仕方を、行政的な計画は必要だとも思うが、そうではない、地域に眠っているような小さな魅力をプレゼンテーションしていくことも必要ではないかと思う。

都市の環境

イラストマップ



グループ発表

<発表概要>

- 環境とは何かについて意見交換をした結果、自然環境や教育環境、防犯の環境など色々な環境があり、一言で「環境」といっても難しいという話になった。
- 島田市の目立った環境とは何があるかを考えたときに、公園や自然というワードが出てきたが、田舎はみんな自然が多いため、島田独自の環境とは言えないのではないかと思う。
- 例えば、昔の人はどこに住んでいるか聞かれたときに、「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」の大井川と答えれば、誰にでも伝わったが、今の20代の人たちはきっとわからないと思う。やはり島田市にとっての環境の大目玉はやはり大井川である。全てが大井川の環境をどう活かすかが島田のまちにとっての環境ではないか考える。
- 島田には大井川があり、市内には無数の用水路が流れている。この用水路を活用した小型水力発電所をつくり、島田としての目玉にしてみてもどうか、といった意見があった。